



北海道利尻高等学校の学校教育目標



☆学校教育目標の重要性を再認識

「学校教育目標」とは、その学校が生徒を育成するために掲げる目標で、在学期間において、この力を身に付けて卒業しますよ、という状態目標です。あらゆる教育が「学校教育目標」を頂点に連動し、下位目標が位置付けられ、それに基づいた具体的教育活動がなされていきます。つまり、学校における全ての教育活動が、学校教育目標に「紐付いている」ことになります。

【現状の課題把握】

- 社会課題（変化の激しい社会、価値観の多様化、予測することが困難な未来、AIとの共存、グローバル化、環境問題 持続可能な社会（SDGs）、変化する働き方、キャリアの多様化等、北海道、宗谷管内、利尻町・利尻富士町の現状と将来予測
- 学校課題（学校意識調査、学校評価、授業評価等）

- ・生徒：学びの目的が明確になる
- ・教職員：意思統一を図ることができる
- ・保護者：学校の目指す姿が明確になる
- ・地域：学校への理解が一体的に子どもを育成する視点を共有できる



- ・全教職員、生徒会役員による協議、共通認識
- ・PTA役員会、学校評議員会、宗谷教育局長への説明
- ・学識者（山形大学）からの指導・助言



【教育の方向性と期待】

- 国・自治体の計画（中教審答申、教育振興基本計画、北海道総合教育大綱、北海道教育推進計画、北海道教育の基本理念、宗谷管内教育推進重点、利尻町学校教育推進、利尻富士町学校教育の重点等）
- 生徒の望む声、保護者からの期待（学校意識調査）、教職員の意思（学校評価）、地域の応援（学校評議員会等）、ふるさと教育、キャリア教育

【校訓】— 醇風剛健 — 学校教育目標の後ろ盾

純粹で温かく、人情味のある豊かな心を持った人間、そして如何なる困難にも打ち克つたくましい心と体、それは利尻の風土に培われた利尻高校生の誇るべき気質である。※S56.4制定

【再定義／アップデート】

変化の激しい社会の中で、伝統的な価値観を尊重しつつ、他者と協調しながら、主体的に困難へ立ち向かう粘り強さで、未来を切り拓いていく様子、知性と人間性を磨き、仲間と協働しながら、強い意志で挑戦し続ける姿勢

【学校教育目標】（目指す生徒像）

未来を探究 社会を共創 自分に挑戦

※R7.4改定

【学校ビジョン】

つながる学校

【行動指針・バリュー】

自律 協働

ふるさと教育

育成の視点
(2つの柱)

キャリア教育

☆この学校教育目標等に基づく教育活動は、「ふるさと教育」と「キャリア教育」の、2つの生徒育成の視点を通じて展開されていきます。それは、自分の未来を切り拓いていくために、生涯に渡った学びを続け、社会とつながりながら、自ら考え行動すること。そして、その結果を踏まえ、更に自分を高めていくことへの期待が込められています。